2023年
7月27日(木)～
28日(金)

2023年度 近畿老人福祉施設研究協議会 神戸大会に参加して

事業所の強みは在宅支援の一助

デイケアの家おしどり　木内　重雄

発表させていただいた第8分科会は「在宅介護におけるデイサービスのあり方」がテーマでした。発表ではデイケアの家おしどりで取り組んでいるオリジナルの「遊びリテーション」について紹介させていただきました。午後の活動がさらに充実したものとなり、在宅生活を続けて行くご利用者様の筋力の維持と心の満足につながっています。分科会では近畿各地のデイサービスの様々な取り組みを聴くことができました。発表する施設それぞれの強みを活かした活動がご利用者様の在宅生活の継続につながっていると感じました。在宅生活の中でデイサービスが支援できることは決して多くはないかもしれませんが、様々なアプローチがあることを学ぶことができました。おしどりにも遊びリテーションの他にまだまだたくさんの強みがあるはずです。ご利用者様の声に耳を傾けて、これからも多角的なアプローチで支援をして行きたいと思います。

ぽだいじホームヘルパーステーション　羽賀　美弥子

近畿老人福祉施設研究協議会に参加させていただき、「仕事効率アップに向けての取組～LINEWORKSを使いこなし連携を高める」を発表させていただきました。

ヘルパーステーションでは、様々な年齢層の職員が働いており、スマートフォンなどの機器の操作が苦手な職員もいました。単にマニュアルを渡すだけではなく、一人ひとりをフォローし互いに助け合い、活用に仕方を話し合い決めていく中で、必要なルールができていきました。当初は使うのが難しいと渋っていた職員も含め、今では全員が使えるようになっています。

ヘルパーステーションで発表しているのが私たち近江ちいろば会だけだったのですが、発表できる機会があることが、自分の視野を拡げたり、経験を積む良い機会となっています。

他の事業所でも全員がLINEWORKSを使えるようになれば、画像情報の共有や緊急時の連絡等、業務の効率化に繋がるのではないかと思います。

ぽだいじデイサービスセンターいこい　竹内　久子　池本　恵美子

近畿老人福祉施設研究協議会に参加させていただき、「有償ボランティアの取り組みと認知症ケアの視点からみた考察」について発表させていただきました。私たちが発表した第４分科会では、８演題中７演題が特養における認知症ケアの発表でした。施設の発表テーマは、ユマニチュード、穏やかな日々、自分らしい生活を、などであり、認知症ケアといっても、施設と通所系では、その役割や目的が違っていることを実感しました。ご本人の生活の場が何処にあるか、どんな環境かを常に考えながら、いこいでの活動を提供していくことが大切です。有償ボランティアもその一つの活動であり、作業療法的な目的と社会参加的な意味をより深めたいと思います。これからも、いこいは、認知症専門のデイサービスとして常に新しい取り組みを行うチャレンジャーでありたいです。

12月1日
開設します!

ライフサポートみなくちみんなの家

小規模多機能型居宅介護事業所

住所　甲賀市水口町中邸１－20

順調に建設が進んでいます！

「ライフサポート みなくち みんなの家」―その名の通り、地域の皆様の暮らしを温かく支える存在でありたいという思いを込めて、ネーミングしました。小規模多機能は、個々のニーズに合わせて「通い」「訪問」「泊まり」のサービスを組み合わせて提供できる複合的なサービスです。いつでも気軽に立ち寄れる場所として、そして何か相談があるときには心を寄せていただける場所として、「ライフサポート みなくち みんなの家」は存在していきたいと思います。

地域の心豊かなつながりを大切にするとともに、現在、水口町にある当法人のデイサービスセンターやグループホーム、ケアプランセンターと連携することで、誰もが安心して利用できる場所として、これからも進化し、地域社会の一員として、地域の高齢福祉を支えていきます。

寄付金･後援会費　感謝報告

2023年4月1日～2023年8月31日　[順不同･敬称略]

中田　匡美	辻　康	中道　悦子	宇野　豊･木村　アサ	木村　晶子
宇田川　潔･恵津子	平野　正	五味　由紀子	岩井　敏子	森口　芳茂
中村　正哉	京都紫明税理士法人	後宮　サチ	八子　美代子	森口　茂
伊勢戸　敏信	杉山　モト子	㈱滋賀レンタリース	大山　悠子	
鈴木　真志	眞壁　日史郎･泰子	藤田　恭子	西村　泰平	
西八條　敬洪･久江	膽澤　文雄	岩谷化学工業㈱	本田　和之	
大門　義和	和田　かほる	野村　昌代	松井　稔	

2022年度の決算報告

貸借対照表（全施設合計）　令和5年3月31日現在　（単位：円）

資産の部		負債の部	
流動資産	666,546,607	流動負債	77,327,390
固定資産	1,100,053,501	固定負債	84,970,608
（基本財産）	758,020,673	負債の部合計	162,297,998
（その他の固定資産）	342,032,828	純資産の部	
		基本金	92,980,024
		国庫補助金等特別積立金	326,155,075
		その他の積立金	88,748,096
		次期繰越活動増減差額	1,096,418,915
		（うち当期活動増減差額）	95,168,922
		純資産の部合計	1,604,302,110
資産の部合計	1,766,600,108	負債及び純資産の部合計	1,766,600,108

事業活動計算書　令和4年4月1日～令和5年3月31日　（単位：円）

勘定科目		当年度決算額
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	805,814,853
	サービス活動費用計	714,377,844
	サービス活動増減差額	91,437,009
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	7,326,174
	サービス活動外費用計	3,603,704
	サービス活動外増減差額	3,722,470
経常増減差額		95,159,479

勘定科目		当年度決算額
特別増減の部	特別収益計	3,753,199
	特別費用計	3,743,756
	特別増減差額	9,443
当期活動増減差額		95,168,922
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	984,249,993
	当期末繰越活動増減差額	1,079,418,915
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	47,000,000
	その他の積立金積立額	30,000,000
	次期繰越活動増減差額	1,096,418,915

財産目録
令和5年3月31日現在
（単位：円）

流動資産	666,546,607	流動負債	77,327,390
固定資産	1,100,053,501	固定負債	84,970,608
		差引純資産	1,604,302,110

発行日　2023年10月
発行責任者
理事長　森口　茂

振後込援口会座費
取り扱い金融機関　郵便局
口座番号　00960-0-109363
社会福祉法人　近江ちいろば会
会費:年額1口 5,000円(何口でも可)

事業内容

ケアハウス ピスガこうせい／ぽだいじデイサービスセンター／ぽだいじホームヘルパーステーション／ぽだいじ居宅介護支援センター／グループホームぽだいじ／中央デイサービスしんあい／小規模多機能型居宅介護　ぽだいじみんなの家／みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター)／ぽだいじ訪問看護ステーション／デイケアの家おしどり／ゆめとまの家おしどり／ふれあいの家おしどり／食堂

ピスガからの風

第59号
2023年10月

社会福祉法人 近江ちいろば会
ピスガこうせい　〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4
TEL.0748-74-3900(代表)
FAX.0748-74-3910
https://chiiroba.jp/

2023年度がスタートして

コロナ感染症が２類から５類に移行して、気分的に楽になった感じはありますがまだまだ油断ができない状態が続いています。

そのような中で、できるだけ普通の暮らしに向けての取り組みが始まっています。

その一つが「近江ちいろば会　夏祭り」です。５月から夏祭り委員を中心に企画運営を行い７月22日(土)に開催されました。４年ぶりの夏祭りで、職員総出で対応し約300名ものご入居者、ご家族、地域の方々にご参加いただき大いに盛り上がることができました。初めて参加する職員も多く、力を結集すれば大きな成果が得られることを体験でき職員にとっても大きな収穫でした。

又、甲賀市水口町中邸で小規模多機能型居宅介護事業所「ライフサポートみなくちみんなの家」の12月開設に向けての工事も始まり、地域の皆様に貢献できる日も近づいております。

これから益々少子高齢化が進み、地域課題も多くなってまいりますが、「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」の理念のもと、法人職員一丸となって解決に向けて取り組んでまいります。

理事長　森口　茂

「ピスガこうせい」が家であるために

ケアハウス　施設長
後宮　みち子

「私は、自分の城で一生過ごしたいのよ。」創立28年を迎えたピスガこうせいで、28年お暮らしの入居者様の言葉です。自分の城とは自分の家のことであり、ピスガこうせいのことです。ピスガこうせいを私の城･自分の家と言っていただけることは私たちにとっても大きな喜びです。

ここを家だと感じてもらうために、共に過ごす時間をたっぷり持てるようにしています。イベント開催はその大きな取り組みです。キッチンカーに来てもらったり、歌ったり、ボランティアを募ったり……多種多様な行事で入居者様同士が出会い繋がる。その繋がりを通して、それぞれにとってピスガこうせいが「我が家」になっていくのだと思います。

Instagram

人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい
OMI CHIIROBAKAI
社会福祉法人 近江ちいろば会

facebook

夏祭り

4年ぶりに、新型コロナウイルスの状況が落ち着いたことを受けて、近江ちいろば会本館の夏祭りが実現しました。今年のテーマは、

Face to Face 笑顔つながる夏まつり

笑顔と交流が広がる素敵な場となりました。

ケアハウスとグループホームの入居者様やデイサービスのご利用者様、そのご家族様、地域の皆様、法人関係者など、私たちの予想をはるかに超える多くの方々にご参加いただき、300名近くがここ近江ちいろば会で、夏のひとときを楽しんでくださいました。

「飾りつけも出し物も手作りなのがいいよね」
「夏休み早々楽しい思い出ができた」
「久しぶりに母と一緒の楽しい時間が過ごせました」
など、温かな感想も寄せられました。

今回のイベントを通して、地域の皆様やご支援くださっている方々に、少しでもご恩返しができたなら、私たちの喜びは計り知れません。夏祭り委員も4年ぶりの開催ということで、新たなエネルギーとアイディアを注ぎながら、充実したプログラムになるようにと企画しました。法人の夏祭りを経験したことのない職員も多く、普段は顔を合わせる機会がない職員同士の初めての出会いから新たなチームワークが生まれ、力を合わせて気持ちを込めて、この夏祭りが実現しました。

笑顔あふれる夏祭りを通じて、新たな出会いや交流が生まれ、皆様の心に温かな思い出のひとつとして残ることを願っています。これからも近江ちいろば会は、地域の皆様と共に、笑顔に満ちた日々を築いていきます。

最後になりましたが、今回の夏祭りも、たくさんの方々のご支援を賜りました。ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

永年勤　続表彰

勤続20年に寄せて

ぽだいじ居宅介護支援センター
渡邊　あゆみ

近江ちいろば会でお世話になり、20年という節目の年を迎えられ、感謝申し上げます。
私は平成15年にピスガこうせいの職員として、ケアハウスに入職いたしました。福祉の職場は未経験であったため、初日に緊張しながら挨拶をさせていただいた時に、当時は館長をされていた後宮先生と、坂田施設長さんから、よく来てくれましたと笑顔で歓迎の言葉をかけていただいた事で、ほっとした気持ちになった事を覚えています。
入居者の皆様や他の職員の方達も皆、温かく接してくださり、不安なく職場の一員となる事が出来ました。当時は全体の職員数もそんなに多くはなく、こぢんまりとアットホームな雰囲気で、毎朝の朝礼時に聖書を読む時間があったり、クリスマス会には、職員の聖歌隊で賛美歌を歌ったり、まだ小学生だった私の子供達も、キャンドルサービスでスタッフとして参加させていただいたりした事は良い思い出の一つです。
その後、高齢者支援センターに異動し、主に地域の高齢者やその支援者の方々との関わりを持つ事ができ、現在は居宅介護支援センターで、日々、介護支援専門員として業務を行う中で、都度、多くの学びの機会を得られた事は、私の大きな財産となっております。
20年という月日の間には、私個人も社会も色々な出来事や変化を経験する事になりましたが、そんな中で、私が長く勤務する事ができたのは、ひとえに、ゆるぎない法人理念のもと、温かくも職務に対して誠実である職員の皆様と一緒に、お互いに切磋琢磨できる環境の中に身を置けていたからだと感謝しております。今後は培った20年の経験値を活かしつつ、不易流行の精神で、微力ながら役割を全うし、高齢者支援に携わる者として、一層の研鑽を重ねていきたいと考えております。

勤続10年に寄せて

デイサービスセンター　みなくちみんなの家
大島　なつみ

近江ちいろば会に入職して10年を迎えることができました。グループホームに５年、デイサービスに異動して５年目になりました。
働き始めた頃は介護の経験もなく、不安いっぱいの毎日でした。入居者さんとどのように接したらいいのかも分からず、関係を作るのにも時間がかかりました。日々の日常を一緒に過ごすことで一人一人のいい所をたくさん知り、少しずつ距離が縮まり信頼関係が築けたかなと思います。
またデイサービスでは今までしてこられたことを続けて頂けるように、心も体も元気になって頂けるように、寄り添い、サポートしていければと思っています。
私が10年も仕事を続けてこられたのも、気軽に何でも相談できる上司や職員のみなさんがいて下さったおかげです。また子供も小さく突然休みをもらうことも多く、迷惑をかけたにもかかわらず「全然大丈夫！」と励まし助けて頂いたおかげです。本当にありがとうございます。職場の雰囲気も良く、利用者さんと過ごす毎日がとても楽しいです。
まだまだ未熟ですが、笑顔と感謝の気持ちを忘れずに毎日頑張っていきます。これからもよろしくお願い致します。

勤続10年に寄せて

法人本部　奥田　孝次

永年勤続10年を表彰いただき、心より感謝申し上げます。この10年間、温かくサポートくださった多くの方々と、私と共に歩んでくださった皆様に、心から御礼申し上げます。どうもありがとうございました。
私が近江ちいろば会の仕事に携わるに至った経緯は、他の方々とは少し異なるかもしれません。かつて企業の営業職に就いていた私は、営業のため飛び込みで近江ちいろば会のドアを叩きました。「せっかくやけど、決まった業者があるからあんたとこからは何も買うたげられへんで」と仰りつつも、せっかくだからと笑顔で迎え入れてくださり、そこで職員の皆さんがイキイキと働いておられる姿が印象的でした。理事長の森口氏と出会い、理事長の温かさや将来志向に感銘を受け、福祉の分野での活動に心惹かれました。何度となく通う内に取引が生まれ、営業と顧客としてお付き合いが続いたある日、思ってもいなかったお誘いが私の人生に訪れた時の感動と喜びは、今も忘れることはありません。
福祉の世界で仕事を始めて一番驚いたことは、職員の方々の優しさと思いやりでした。そこには、仕事や立場を超えた人と人との関わりがありました。また、介護のクリエイティブな側面にも驚きました。関わり方ひとつで、自分の目の前にいる人の未来が変わることを肌で感じ、その影響力に感動しました。
現在私は、法人本部の一員として事業所のサポートを行う一翼を担っています。職員の取り組む意欲が出てくるような方針を話し合って立て、提案や意見交換を通じて事業所の成長につなげることで、共に取り組む達成感が生まれます。また、地域の皆様にも支えていただき、地域活動などを通して互いに協力する中で信頼し合える関係が築かれてきたことも、大きな喜びとなっています。
近江ちいろば会には、「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」という、深く共感できる素晴らしい基本理念があります。隣人愛の奉仕を通じて、高齢者の生活に貢献できることを喜びとし、この考え方を業務中、業務外に関わらず大切にしています。
今後も、この基本理念を拠り所として、一人ひとりに寄り添い、支える存在であり続けたいと強く思っています。皆様のお力も借りながら、更なる成果や地域社会への貢献を追求し、共に歩んでまいります。これからも引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。
この度は、本当にありがとうございました。

勤続10年に寄せて

ふれあいの家おしどり　四宮　啓美

近江ちいろば会にご縁を頂いて10年になり、時の経つのが早いと驚いております。
私は、るんるんクラブ、ふれあいの家おしどりと主に介護予防、そのほかの部署でも少しお手伝いで関わらせていただきました。
全くの未経験でお仕事をはじめさせていただきましたが、周りの職員の皆様にご指導いただきました。またご利用者様、そのご家族様、ボランティアで関わってくださる色々な方々と関わることができ、また法人の研修からも色々なことを知ること、学ぶことができ、私の人生も深いものとなっています。
更に、仕事を通じて学んだことが、自分の親の介護でも活かすことができありがたく思っています。
法人の「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」という言葉はまさにそうだと思い、好きな言葉です。
これからもこの理念に沿って、ご利用者様が毎日を元気で！楽しく！過ごしていただけるような取り組みを心がけ、人に喜ばれる職員でありたいと思います。